

令和 6 年度第 3 回浜田市保健医療福祉協議会 会議録

会 議 名	令和 6 年度 第 3 回浜田市保健医療福祉協議会
開 催 日 時	令和 6 年 12 月 23 日（月）18：30～19：50
開 催 場 所	浜田市役所 4 階 講堂 A B
会 議 の 担 当	健康福祉部 地域福祉課
議 題	浜田市こども計画（素案）について
公開・非公開	公開（傍聴者 0 名）

【出席者】

委 員 (14 名)	笠田委員、中島委員、角委員、佐々木良二委員、川神委員、佐々木喜弘委員、中本委員、岡本委員、長谷川委員、宇野委員、宮木委員、丸田委員、三浦委員、富金原委員
事務局 (5 名)	久保健健康福祉部長、小驛地域福祉係長、龍河子ども・子育て支援課長、小林子育て世代包括支援担当課長、吉村子ども政策係長

1 会議成立報告

20 名中 14 名の出席により、委員の半数を満たす。

2 会長あいさつ

3 【報告事項】

学校に通学できない児童・生徒の健康診断について

事務局	<p>第 1 回の保健医療福祉協議会で、学校に通学できない児童・生徒は健康診断をどのようにして受けるのかというご質問をいただいております、担当である教育委員会に確認した内容をご報告する。</p> <p>学校に通学できない児童・生徒については、学校医である先生の病院に行き、健康診断を受けていただくよう案内をしている。</p> <p>現状として、該当の児童・生徒の全員が健康診断を受けている訳ではないが、なるべく皆さんに受けていただくようアプローチをしている。</p>
-----	---

4 【議題事項】

(1) 浜田市こども計画（素案）について

計画（素案）について事務局から説明

委 員	<p>P48 の「ニーズ調査」で、放課後児童クラブについて、就学前保護者の約 8 割が低学年時の利用を希望しており、今後も高いニーズが想定されるとのことであった。</p> <p>P105 では、放課後児童クラブの量の見込みが記載されているが、これはニーズ調査の結果を踏まえ量を見込んでいるものか。</p>
-----	--

【次項へ】

事務局	<p>量の見込みについては、市民アンケートの結果や、現在の利用状況を踏まえ、数値を記載している。</p> <p>放課後児童クラブについては、利用を希望したい方が確実に利用できるよう、体制づくりを進めていきたいと考える。</p>
委 員	<p>P48 の「子育て支援団体ヒアリング調査」で、「子どもの遊べる場所」が課題という記載があった。この課題に対しては、こどもの意見を尊重しこどもたちのニーズを把握して解決に取り組んでほしいと思う。</p> <p>例えば杵束まちづくりセンターでは、芝生やブランコが設置されており、多くのこどもや家族が集う場所になっていて地域の住民も喜んでいる。</p> <p>最近のこどもたちは、オリンピックの影響等もありスケートボードで遊んでいることが多いので、そういったニーズも把握していただきたい。</p>
事務局	<p>今回の「こども計画」の策定とその後の取組にあたっては、こどもの意見を反映させることが重要な理念であると考えている。</p> <p>「遊べる場所」に関する事例のひとつとして、松原町の旧子育て支援センター跡地の利用について、地域のこども達からの陳情を受け、こどもが遊ぶことのできる公園を設置した。</p> <p>また、その際にボールが使える公園を設置してほしいという意見もいただいたので、「浜田市身近な公園整備方針」にそれを盛り込んだ。</p>
委 員	<p>P56 の数値目標について、現状の数値と随分乖離しているという印象を受けた。この現状を理解したうえで、目標値に近づけるための施策を展開するということだと思うが、あえて高い目標値を目指す背景をご教示いただきたい。</p>
事務局	<p>P56 の現状値及び目標値については、国の「こども大綱」で示されたものと同値を本計画においても採用している。これは、浜田市でも国の掲げる目標値を達成するよう取組んでいくべきという考えからであるが、浜田市の現状がどうであるかについては、まだ調査できていない。</p> <p>5 年後にこの計画は改定される予定であるが、その際にはこれらの項目について浜田市でアンケート調査を行い、現状値の分析や目標値を達成するための施策について検討したいと考える。</p>
委 員	<p>P58 の「学校におけるスポーツ環境の充実」で、外部指導者の活用や地域の連携について記載されているが、現在はどうのような状況か。</p>

【次項へ】

事務局	外部指導者については、全ての学校という訳ではないが、主に中学校の部活動で制度が活用されている状況である。
委 員	P58 の「ふるさと教育推進事業」のうち「④自然体験活動の推進」また、P59 の「自然環境についての啓発」について、島根県の自然観察指導員の方が浜田市にもおられるので、ぜひそういった人材を活用していただきたい。
事務局	今後活用を検討する。
委 員	P61 の「こどもの貧困」で、これは家庭の自己責任ではなく社会全体で受け止めるべき課題と記載されている。貧困の要因は色々あると思うが、非正規雇用の問題もあると思う。 P61 に市、民間企業・団体等の連協・協働について記載されているが、浜田市でもこの問題に着目し、社会全体で貧困家庭を無くすということをぜひ訴えていただきたいと思います。
事務局	「こどもの貧困」については、現在も学校等のご協力をいただきながら関係機関で連携して、早期発見につながるよう情報の把握に努めている。今後も適切な支援につなげることができるよう体制を構築していきたい。
委 員	P64 の「虐待の早期発見と予防」で、虐待の早期発見について記載をされているが、発見されてからの対処施策ではなく、こどももまんなか社会の実現に向けて、虐待の予防もぜひ充実させていただきたい。
事務局	虐待の予防については、今までも妊娠からの切れ目ない支援というところで、母子保健事業では重要視して取組んできた。今後も引き続き、妊娠中から虐待の予防につながるような関わり方をしていきたいと考える。
委 員	P72 の「子育て講演会・講習会の開催」で、各種講座を子育て支援センターで開催と記載してある。しかし、子育て支援センターに多くの方が出向いておられるか疑問に思う。共働き家庭やひとり親家庭でも参加しやすいような工夫をしてほしい。そのためのひとつの提案として、子育て支援センターだけではなく、各地域で出張講演をするなどの工夫をしていただきたいと思います。
事務局	講演会・講習会については、子育て中の家庭の方も参加しやすいような日時を考慮しながら取組みたいと考える。
委 員	P76 に学校給食を通じた食育の推進について記載がある。P25 のアンケート結果では、小学生保護者のうち食費について負担を感じる人の割合が 73.4%となっている。この食費とは、学校給食費も含まれた上での回答なのだろうか。 現在、食材の値上がりにより学校給食も大変なのではないかと

【次項へ】

	<p>思う。また、浜田市はオーガニックビレッジ宣言をし、学校給食に有機食材を取り入れようという動きもある。</p> <p>給食費の料金や内容について、保護者が満足しているのかどうか、ぜひ調査をしていただきたい。</p>
事務局	<p>学校給食の料金や内容を保護者が満足しているかどうかということについて、この場ですぐ回答できないため、後日回答させていただく。</p>
委 員	<p>P81 の「不登校のこどもへの支援」で、教育機会確保法について記載がある。この法律は、不登校というだけで問題行動と受け取られることのないように配慮することを基本的な考えとしていると思う。しかしながら、同じく P81 の「スクールカウンセラーの配置」では、「児童生徒の不登校、いじめ、その他の問題行動」と、不登校が問題行動であるような記載がされている。</p> <p>また、P51 では学校へ登校しない選択肢を支える仕組みも検討することが求められているとある。</p> <p>教育機会確保法の趣旨を踏まえ、不登校の選択もひとつの権利として認めてもらいたい。</p> <p>P81 に「心や体そして家庭的な問題等から学校への不適応を起こした児童生徒に対して」という表現があるが、不登校の要因には学校での生活がきっかけとなることもあると考えるので、要因のひとつに含めてもらいたい。</p>
事務局	<p>ご意見のとおり、登校しない選択肢はこどもの権利であると考ええる。不登校の要因の表現については、修正が必要かどうか事務局で検討する。</p>
委 員	<p>P107 の「⑫子育て世帯訪問支援事業」、「⑬児童育成支援拠点事業」、「⑭親子関係形成支援事業」がそれぞれ新規の事業として計画に追加されたのだと思う。</p> <p>これらを計画に追加した背景をご教示いただきたい。</p>
事務局	<p>これらは、国の「地域子ども・子育て支援事業」に令和 6 年度から新たに組み込まれたメニューであり、国の指針に沿って「浜田市こども計画」にも盛り込んだものである。浜田市では令和 7 年度からこれらの新規事業に取り組む訳ではなく、本計画の期間中（令和 7 年度～令和 11 年度）に、ニーズ等を把握しながら実施するかどうかを検討するといったものになる。</p>
委 員	<p>高齢者福祉計画や介護保険事業計画では、住みなれた浜田市という地域で最後まで暮らすことができる、ということを目標のひとつに掲げていると思う。こどもに対しても同様に、浜田で生まれ育つ、浜田で暮らす今が幸せだなど、こどもが思える瞬間があれば良いと思う。そのあたりも数値目標として頑張っていただけ</p>

	れば良いのではないかと思います。
事務局	<p>住みなれた地域でずっと暮らしてほしい、そのための環境をつくっていききたい、という浜田市の考えは、最上位計画である「浜田市総合振興計画」においてもお示ししており、健康福祉部門では「健康でいきいきと暮らせるまち」を、教育部門では「夢を持ち郷土を愛する人を育むまち」をまちづくりの大綱として掲げており、本計画においても根底では共通している。</p> <p>本計画で掲げている、こどもや若者の意見が尊重され、過ごしやすいまちづくりをするということは、ひいては地域に愛着を持っていたくということにつながるものと考えている。</p>
委 員	P76 の「食生活改善推進協議会活動の推進」について、食生活推進員の役割は重要であるため、という記載があるが、「こどもまんなか」という観点から、生涯を通した健康な食生活を身に付けるためというような、こども主体の記載に修正するのが良いのではないかと思います。
事務局	文言の修正について検討する。

(2) こども計画の策定に係るパブリックコメントの実施について

パブリックコメント実施期間：令和 7 年 1 月 7 日～令和 7 年 2 月 6 日

事務局	期間内にパブリックコメントを実施し、いただいた意見等をもとに、最終的な計画（案）を委員の皆様にお示しする。
-----	---

(3) 決議について

こども計画について、現行の案でパブリックコメントを実施することについて可決。